

p186 「一問一答」

1. ジブカイン塩酸塩は、殺菌消毒成分である。
2. オイゲノールは冷感刺激を与えて知覚神経を麻痺させ、鎮痛・鎮痒効果をもたらす。
3. 歯周組織からの出血を抑えることを目的として、カルバゾクロムが外用で用いられることがある。
4. 口内炎は、口腔粘膜に生じる炎症で、口腔の粘膜上皮に水疱や潰瘍ができて痛み、ときに口臭を伴う。
5. セチルピリジニウム塩化物は、歯周組織や口腔粘膜の炎症を和らげる。
6. 口内炎や舌炎の再発を繰り返す場合には、ベーチェット病等の可能性も考えられるので、医療機関を受診する等の対応が必要である。
7. ニコチンは、アドレナリン作動成分配合の医薬品と併用すると、その作用を増強させるおそれがある。
8. 禁煙補助薬（咀嚼剤）では、口腔内で放出されたニコチンを唾液とともに飲み込むことが重要である。
9. ニコチン置換療法は、ニコチンの摂取方法を、喫煙以外の禁煙補助剤に置き換えていく方法で、離脱症状の軽減を図りながら徐々に摂取量を減らし、最終的にニコチン摂取をゼロにする方法である。
10. コーヒーや炭酸飲料を飲んで口腔内が酸性の状態では禁煙補助薬（咀嚼剤）を使用すると、ニコチンの吸収が低下する。

【解答】

1. × ジブカイン塩酸塩は局所麻酔成分。
2. × オイゲノールは殺菌消毒成分。
3. ○
4. ○
5. × 歯周組織の炎症を和らげるのは、グリチルリチン酸二カリウム。セチルピリジニウム塩化物は、細菌の繁殖を抑える殺菌消毒成分。
6. ○
7. ○
8. × ニコチンを含む唾液を飲み込むと、口腔粘膜から吸収されるニコチンの量が減少する。また、吐きけや腹痛等の副作用が現れやすくなる。
9. ○
10. ○